

平成19年(2007年)10月16日

建設委員会資料

都市整備部南部地域まちづくり担当

本町二・三丁目地区のまちづくりについて

本地区は、新宿副都心に近く利便性の高い地区であり、中野坂上駅周辺や山手通り等幹線道路沿いの商業地では再開発や建替え更新等により、建物の不燃化や耐震化が進んでいる。

一方、幹線道路から一本路地へ入ると、狭隘道路が多く接道不良敷地や小規模敷地等があり、建替え更新が困難な古い木造家屋が密集している街区が残っている。

また、災害時の活動拠点となる公園等オープンスペースも不足しており、都が行っている地域危険度調査においても、「火災危険度」や「避難危険度」がランク「4」という結果であり、災害危険度の高い地区となっている。

本年2月には、本町二丁目郵政宿舎跡地を活用したまちづくりについて地域からの要望があり、これを受け区として地域の主体性を活かしながら災害に強いまちづくりを目指すと共に、快適な地域環境の創造や地域の賑わいと交流の復興など総合的なまちづくりを進めていく。

1. まちづくりの考え方

災害に強いまちづくりでは、老朽木造住宅が密集している街区の解消を図るため、整備箇所の実情にあった多様なまちづくり誘導手法を使い、民間の自主更新を促し段階的にまちづくりを進める。

また、まちづくりの起点として郵政宿舎跡地を活用し、公園等オープンスペースの整備や周辺道路の拡幅など都市基盤整備を進め、防災機能の充実と地域環境の向上を図る。

2．本町二丁目郵政宿舎跡地の取得について

本町二丁目郵政宿舎跡地については、まちづくり用地として活用するため区として取得することとする。そのため、土地所有者である国家公務員共済組合連合会から中野区土地開発公社が平成19年12月頃、用地を先行取得する予定である。

用地の概要

所在地 中野区本町二丁目12番

面積 6,272.19㎡(公簿)

所有者 千代田区大手町1-4-1 国家公務員共済組合連合会

3．地域での検討イメージ

